

「いちよみ活動紹介」リレー企画 ④

① 名前（仮名でも OK）

河井三保

② 子どもの学年

6年生

① いちよみに登録した理由やきっかけ、読み聞かせ歴

いちよみ発足前の1年生の時から参加しています。

きっかけは子どもに「読みに来て」とせがまれたため。

思い切って挑戦してみたところ、読み聞かせの魅力にはまり、いちよみができた時に迷わず登録しました。

② 本選びのポイント

本は沢山あって、どれを読めば良いか悩みますよね。

私は、読み聞かせについて書かれた書籍などを参考にしながら、図書館の本を試し読みしています。

1. まずは一読者として楽しむ

（ここでは殆ど絞られません）

↓

2. 次に自分に読めるかどうか声に出して読んでみる

(ここでだいぶ絞られます)



3. 担当の日が決まったら、学年や季節などからテーマを決めて1と2で絞った中から合いそうな本を選ぶ。

(一回に3冊ほど読みます。1冊目は短めのものを。)

読んだ本はリストにして、常に何冊かは読みたい本をストックしています。

③ 思い出の本またはオススメの本 (リンクは絵本ナビ)

思い出深い本は2年生の最初に読んだ「[あらしのよるに](#)」。
この時に見学された方の発案で、一年かけてシリーズを保護者の方々に読みつなぐ試みになりました。

オススメの本 (読んだ学年) は、

- ・ [バナナじけん](#) (1年生)
- ・ [ふってきました](#) (2年生)
- ・ [ぼくのジイちゃん](#) (4年生)
- ・ [ひとのいいネコ](#) (4年生)

どの本も楽しくて盛り上がるのでオススメです！

④ 読み聞かせの感想（子ども達の様子など）

最初は、キラキラした子ども達の目に囲まれ、かなり緊張して穴にでも入りたい気分になりました。

そこで、読む本を決めたら、文章を抜き出してノートにして、物語の背景や登場人物の性格を書き込んだり、発声練習をしたり、自分の読みを録音してチェックしてみたりと、勉強をしてから臨むように。

「どんな風に読んだら伝わるだろう？」

「子ども達に自由に楽しんでもらえるかな？」

ということを考えて準備しています。

でも予想と違う結果になることも多いです。

（一冊目の短い本で拍手をもらうなど・・・）

読み聞かせは、ライブなのですね。

その時の子ども達や自分の状態などで、生まれる空気感が変わってきます。

ワクワクとスリルがあります。

年度の始めはだいぶ緊張しますし、「もっとこうすれば良かった」と反省することも多いですが、

活動を通じて絵本の世界の素晴らしさを再認識し、自分なりの課題も出てきて、今では読み聞かせはライフワークになりました。

なにより、可愛い子ども達と素敵な本と一緒に楽しむ時間はとても癒されるし、読んだ後は幸せな気分になります。後に図書館で借りた子がいたと聞いた時は、本当に嬉しかったです。

読み聞かせ後のミニ交流会でメンバーの方々のお話を伺うのも楽しいですヨ。

いちよみの活動に、細かいルールはありません。

参加を迷っている方は、安心して読めるように事務局でもお手伝い致しますので、読み聞かせが再開になりましたら、ぜひ一度挑戦してみてください。

何か新しい発見があるかも！？